

臨床研究の実施に関する情報公開

当院では、多機関共同研究の代表機関である静岡県立総合病院臨床研究倫理委員会にて審査を受けたうえで、所属機関長の許可を得て下記の臨床研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために試料・情報が使用、提供されることにご了承いただけない場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

研究課題名	補体関連マーカー免疫染色による糸球体腎炎の病態解明：後ろ向き腎生検研究
対象者	2017 年から 2026 年に静岡県立総合病院、静岡済生会総合病院において以下糸球体腎炎のために腎生検を施行した患者さん。 ・ IgA 腎症 ・ ループス腎炎 ・ 膜性腎症 ・ 感染関連糸球体腎炎 ・ C3腎症 ・ ANCA 関連腎炎 ・ 微小変化型ネフローゼ症候群 比較対象として補体関連マーカーが関与しないと考えられる以下症例の患者さん。 ・ 動脈硬化性腎硬化症 ・ 糖尿病性腎症 ・ 腎移植をされた症例
研究期間	研究機関の長の実施許可日 ～ 2027 年 3 月
試料・情報の利用又は提供を開始する予定日	2026 年 2 月 20 日
研究の目的	血液中に含まれるタンパク質群である補体成分は、抗体の働きを助けとなる免疫システムの一部です。糸球体疾患においてその補体成分の異常な活性化は病因・病態に重要な役割を果たします。この異常活性化は多数の糸球体疾患に共通するものがあり、その程度や関与する経路には疾患間で差違があると考えられています。 本研究では補体経路の関連および疾患間の差違を評価し、今後の診断、治療法検討の基礎を得ることを目的としています。
利用または提供する試料・情報の項目及び利用方法	<収集する方法・項目> <試料> 臨床において取得した試料を利用します。 ・ 腎生検で採取した組織検体 <情報> 以下の情報を診療録より収集します。 ・ 背景因子（年齢、性別、血圧） ・ 血液検査結果、尿検査

	・ 初期治療内容 など < 試料・情報の授受の方法 > 静岡県立総合病院、静岡済生会総合病院で収集した試料は、個人を特定することができないように研究用の識別番号を用いて加工し、日本医科大学に郵送し染色されます。なお、使用した試料については各施設へ返却されます。静岡済生会総合病院で収集した情報は、個人を特定することができないように研究用の識別番号を用いて加工し、静岡県立総合病院に提供されます。
研究実施体制	< 研究代表機関および研究代表者 > 静岡県立総合病院 腎臓内科 山本凱大 < 共同研究機関および研究責任者 > 日本医科大学 解析人体病理学講座 高熊将一郎 < 既存試料・情報の提供のみを行う者 > 静岡済生会総合病院 腎臓内科 戸川証 飯室敬太 伊吹萌文子
問い合わせ先	他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内に限り、本研究の計画や関連資料を閲覧することが可能です。この研究に関するお問い合わせ、ご意見等ございましたら下記へご連絡ください。 静岡県立総合病院 腎臓内科 山本凱大 電話番号：054-247-6111（代表）